平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月12日

上場会社名　　ＯＵＧホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　8041　　ＵＲＬ　http://www.oug.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）谷川　正俊
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員経営基盤グループ（氏名）中江　一夫　　ＴＥＬ　06-4804-3033
四半期報告書提出予定日　　平成25年11月14日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	148,801	1.5	198	－	213	－	43	－
25年３月期第２四半期	146,564	△4.3	△899	－	△901	－	△968	－

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　183百万円　（－%）　25年３月期第２四半期　△1,163百万円　（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	0.79	－
25年３月期第２四半期	△17.72	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第２四半期	74,761	15,170	20.3	277.68
25年３月期	68,980	15,314	22.2	280.32

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　15,170百万円　25年３月期　15,314百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	0.00	－	6.00	6.00
26年３月期	－	0.00			
26年３月期（予想）			－	6.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	2.0	1,100	－	900	－	600	－	10.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	55,622,921株	25年３月期	55,622,921株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	990,837株	25年３月期	988,073株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	54,633,256株	25年３月期２Ｑ	54,642,435株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済財政政策を背景として、輸出の持ち直しによる企業の生産や収益の改善が徐々に国内需要の改善につながり緩やかな回復傾向にありました。このような経済状況の中、個人消費は堅調に推移しておりますが、日常消費に対する節約志向は依然として強く続いております。

水産物流通業界におきましては、海外水産物は円安及び一部魚種の不漁並びに国際競争の激化などにより調達コストが上昇し、国内水産物は異常気象の影響により漁獲が変動するなど外部環境の厳しさが続きました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第２四半期連結累計期間の売上高は1,488億1百万円（前年同四半期比101.5%）となりました。損益面では、売上総利益は104億84百万円（前年同四半期比107.0%）となり、営業利益1億98百万円（前年同四半期は営業損失8億99百万円）、経常利益2億13百万円（前年同四半期は経常損失9億1百万円）、四半期純利益43百万円（前年同四半期は四半期純損失9億68百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

＜水産物荷受事業＞

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は減少したものの販売単価の上昇により売上高938億66百万円（前年同四半期比100.1%）、売上総利益率の改善と間接経費全般の節減によりセグメント利益4億99百万円（前年同四半期はセグメント損失4億29百万円）となりました。

＜市場外水産物卸売事業＞

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、エビ商材等の相場高騰による販売単価の上昇により売上高546億50百万円（前年同四半期比103.9%）、販売競争の激化や仕入価格の上昇などによる売上総利益率の低下によりセグメント損失2億36百万円（前年同四半期はセグメント損失3億43百万円）となりました。

＜養殖事業＞

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、養殖ブリの相場が前年度の低相場から上昇傾向にあり売上高24億54百万円（前年同四半期比123.1%）、給餌効率の改善、間接経費全般の節減に努めましたが、餌料価格の上昇などからセグメント損失85百万円（前年同四半期はセグメント損失2億9百万円）となりました。

＜食品加工事業＞

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、定塩鮭冷凍製品の安定的な生産拡大を基礎に販売拡大を図り売上高22億85百万円（前年同四半期比109.3%）となりましたが、原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失72百万円（前年同四半期はセグメント損失90百万円）となりました。

＜物流事業＞

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、通過物量の減少などにより売上高10億29百万円（前年同四半期比98.1%）となり、配送コストの増加等からセグメント損失27百万円（前年同四半期はセグメント損失33百万円）となりました。

＜その他＞

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高22億79百万円（前年同四半期比111.9%）、セグメント利益29百万円（前年同四半期比339.9%）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて57億81百万円増加し、747億61百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加59億85百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて59億26百万円増加し595億91百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加18億51百万円、借入金の増加46億19百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億44百万円減少し151億70百万円（自己資本比率20.3%）となりました。主な要因は、配当金の支払3億27百万円などによる利益剰余金の減少2億78百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億47百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて2億2百万円増加し、19億81百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは33億76百万円の支出（前年同四半期40億8百万円の支出）となりました。売上債権の減少7億36百万円（前年同四半期11億83百万円の増加）及び仕入債務の増加17億92百万円（前年同四半期23億61百万円の増加）がありましたが、たな卸資産の増加59億85百万円（前年同四半期44億65百万円の増加）が主な資金の減少要因となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは3億46百万円の支出（前年同四半期3億85百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出2億89百万円（前年同四半期3億55百万円の支出）及び投資有価証券の取得による支出13百万円（前年同四半期14百万円の支出）が主な資金の減少要因となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは39億25百万円の収入（前年同四半期39億79百万円の収入）となりました。ファイナンス・リース債務の返済による支出3億65百万円（前年同四半期3億50百万円の支出）及び配当金の支払3億27百万円（前年同四半期3億27百万円の支払）がありましたが、短期借入金及び長期借入金の借入れによる純収入46億19百万円（前年同四半期46億59百万円の純収入）が主な資金の増加要因となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月14日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,794	1,996
受取手形及び売掛金	27,710	26,990
商品及び製品	16,785	22,757
仕掛品	1	0
原材料及び貯蔵品	119	133
その他	1,216	1,366
貸倒引当金	△392	△383
流動資産合計	47,234	52,862
固定資産		
有形固定資産	11,807	11,640
無形固定資産	3,408	3,405
投資その他の資産		
投資有価証券	5,639	5,949
その他	2,533	2,518
貸倒引当金	△1,642	△1,613
投資その他の資産合計	6,530	6,853
固定資産合計	21,746	21,899
資産合計	68,980	74,761
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,098	21,949
短期借入金	15,200	20,240
1年内返済予定の長期借入金	5,240	5,034
未払法人税等	179	156
賞与引当金	643	654
その他	3,562	3,368
流動負債合計	44,924	51,402
固定負債		
長期借入金	2,838	2,623
退職給付引当金	2,475	2,416
役員退職慰労引当金	89	88
その他	3,338	3,060
固定負債合計	8,741	8,189
負債合計	53,665	59,591

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,153
利益剰余金	2,424	2,145
自己株式	△244	△245
株主資本合計	14,828	14,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	805	953
繰延ヘッジ損益	12	4
土地再評価差額金	△332	△337
その他の包括利益累計額合計	486	620
純資産合計	15,314	15,170
負債純資産合計	68,980	74,761

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	146,564	148,801
売上原価	136,764	138,317
売上総利益	9,800	10,484
販売費及び一般管理費	10,700	10,285
営業利益又は営業損失（△）	△899	198
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	88	87
負ののれん償却額	33	－
その他	96	104
営業外収益合計	222	194
営業外費用		
支払利息	168	152
その他	54	27
営業外費用合計	223	179
経常利益又は経常損失（△）	△901	213
特別損失		
事務所移転費用	39	－
投資有価証券評価損	13	－
固定資産除却損	－	9
固定資産売却損	－	6
特別損失合計	52	16
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△953	197
法人税、住民税及び事業税	66	138
法人税等調整額	△48	15
法人税等合計	17	153
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△971	43
少数株主損失（△）	△3	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△968	43

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△971	43
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	147
繰延ヘッジ損益	5	△7
その他の包括利益合計	△192	139
四半期包括利益	△1,163	183
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,160	183
少数株主に係る四半期包括利益	△3	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△953	197
減価償却費	426	451
負ののれん償却額	△33	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	178	△38
退職給付引当金の増減額（△は減少）	13	△59
賞与引当金の増減額（△は減少）	12	10
受取利息及び受取配当金	△91	△89
支払利息	168	152
売上債権の増減額（△は増加）	△1,183	736
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,465	△5,985
仕入債務の増減額（△は減少）	2,361	1,792
その他	△261	△311
小計	△3,827	△3,143
利息及び配当金の受取額	91	89
利息の支払額	△184	△156
法人税等の支払額	△87	△166
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,008	△3,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△355	△289
投資有価証券の取得による支出	△14	△13
長期貸付けによる支出	△3	△1
長期貸付金の回収による収入	32	11
その他	△44	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△385	△346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	4,925	5,040
長期借入れによる収入	150	－
長期借入金の返済による支出	△415	△420
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△350	△365
配当金の支払額	△327	△327
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,979	3,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△414	202
現金及び現金同等物の期首残高	2,167	1,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,752	1,981

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	水産物荷受事業	市場外水産物卸売事業	養殖事業	食品加工事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	90,955	51,477	1,276	794	554	145,058	1,506	146,564	－	146,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,815	1,103	717	1,297	495	6,427	531	6,959	△6,959	－
計	93,770	52,580	1,994	2,091	1,049	151,486	2,037	153,523	△6,959	146,564
セグメント利益又は損失（△）	△429	△343	△209	△90	△33	△1,106	8	△1,097	198	△899

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額198百万円には、セグメント間取引消去643百万円、のれんの償却額△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△437百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	水産物荷受事業	市場外水産物卸売事業	養殖事業	食品加工事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	90,623	53,428	1,763	878	535	147,229	1,571	148,801	－	148,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,242	1,221	691	1,407	494	7,057	707	7,765	△7,765	－
計	93,866	54,650	2,454	2,285	1,029	154,287	2,279	156,566	△7,765	148,801
セグメント利益又は損失（△）	499	△236	△85	△72	△27	76	29	106	91	198

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失の調整額91百万円には、セグメント間取引消去600百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△509百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。